

Sx350シリーズマネージドスイッチのログ集約設定の設定

目的

Syslogサービスはメッセージを受け入れ、ファイルに保存するか、単純な設定ファイルに従って出力します。この形式のロギングは、シスコのデバイスに最適です。これは、保護された長期ストレージをログに提供できるためです。これは、日常的なトラブルシューティングとインシデント処理の両方で役立ちます。

ロギングアグリゲーションとは、インスタンスが発生するたびに同じタイプの複数のsyslogメッセージが画面に表示されないことを意味します。ロギング集約を有効にすると、特定の期間に受信するシステムメッセージをフィルタリングできます。同じタイプのsyslogメッセージが数個収集されるため、メッセージが発生した場合には表示されないが、指定した間隔で表示されます。

この記事では、Sx350シリーズマネージドスイッチのログ集約設定の設定方法について説明します。

該当するデバイス

SG350シリーズ

SF350シリーズ

[Software Version]

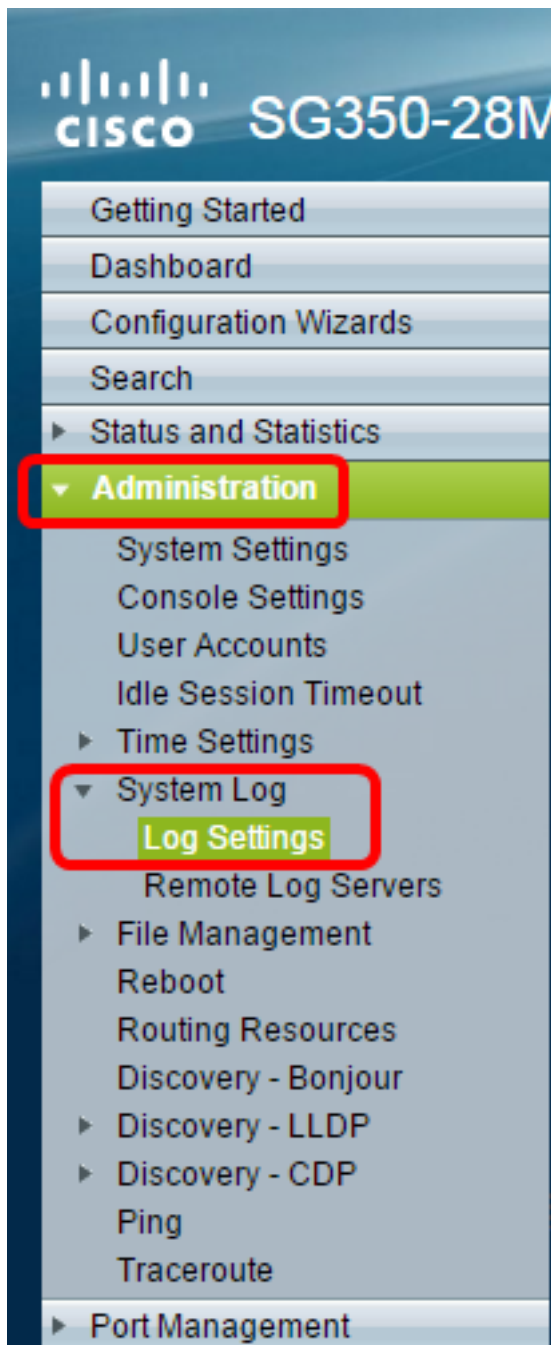
- 2.1.0.63

ログ集約設定の設定

ログ集約設定の有効化

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [System Log] > [Log Settings]を選択します。

注：このシナリオでは、SG350-28MPスイッチが使用されます。



ステップ2: Syslogメッセージとトラップの集約を有効にするには、[Enable Syslog Aggregator]チェックボックスをオンにします。有効にすると、同一の連続したSyslogメッセージとトラップが指定されたMaxで集約されます。1つのメッセージで送信される集約時間。集約されたメッセージは、到着順に送信されます。各メッセージには、集約された回数が表示されます。

Log Settings

Logging: Enable

Syslog Aggregator: Enable

Max. Aggregation Time: 300 sec (Range: 15 - 3600, Default: 300)

Originator Identifier:

- None
- Hostname
- IPv4 Address
- IPv6 Address
- User Defined (0/160 characters used)

注：Syslog Aggregatorはデフォルトで無効になっています。

ステップ3: (オプション) 最大値を秒単位で入力します。[集約時間]フィールド：メッセージが表示される間隔を指定します。デフォルト値は 300 秒です。

Syslog Aggregator: Enable

Max. Aggregation Time: 300 sec (Range: 15 - 3600, Default: 300)

ステップ4: (オプション) SyslogメッセージにオリジンIDを追加するには、次のオプションから[Originator Identifier]を選択します。

Originator Identifier:

- None
- Hostname
- IPv4 Address
- IPv6 Address
- User Defined (0/160 characters used)

None:Syslogメッセージに元のIDを含めない

Hostname : システムホスト名をSyslogメッセージに含めます。

IPv4 Address:Syslogメッセージに送信側インターフェイスのIPv4アドレスを含めます

IPv6 Address:Syslogメッセージに送信側インターフェイスのIPv6アドレスを含めます

[User Defined]:Syslogメッセージに含める説明を入力します

注：デフォルトの[Originator Identifier]は[None]に設定されています。

ステップ5: (オプション) [RAM Memory Logging]領域で、Random Access Memory(RAM)に記録するメッセージの重大度を選択するには、オンまたはオフにします。

RAM Memory Logging		Flash Memory Logging	
Emergency:	<input checked="" type="checkbox"/>	Emergency:	<input checked="" type="checkbox"/>
Alert:	<input checked="" type="checkbox"/>	Alert:	<input checked="" type="checkbox"/>
Critical:	<input checked="" type="checkbox"/>	Critical:	<input checked="" type="checkbox"/>
Error:	<input checked="" type="checkbox"/>	Error:	<input checked="" type="checkbox"/>
Warning:	<input checked="" type="checkbox"/>	Warning:	<input checked="" type="checkbox"/>
Notice:	<input checked="" type="checkbox"/>	Notice:	<input checked="" type="checkbox"/>
Informational:	<input checked="" type="checkbox"/>	Informational:	<input type="checkbox"/>
Debug:	<input type="checkbox"/>	Debug:	<input type="checkbox"/>

Apply Cancel

levelの値は次のとおりです。

0 : 緊急

1 : アラート

2 : 緊急

3 : エラー

4 : 警告

5 - 通知

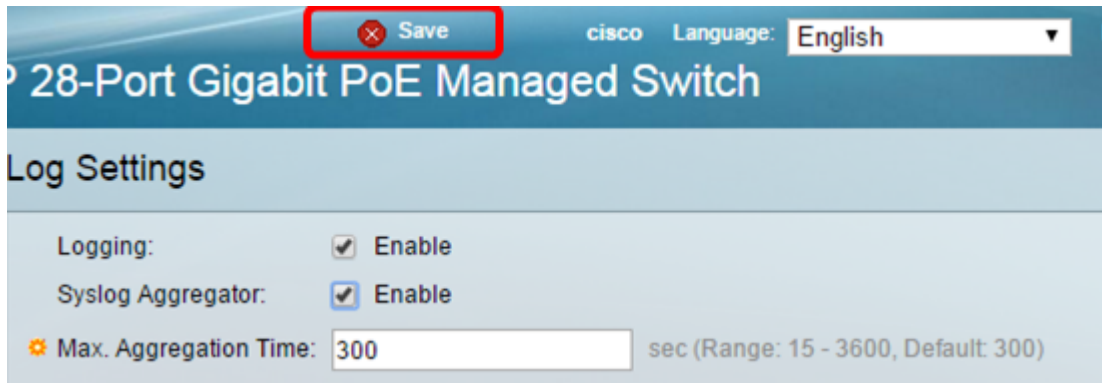
6 : 情報

7 : デバッグ

ステップ6: (オプション) [Flash Memory Logging]領域で、フラッシュメモリに記録するメッセージの重大度レベルを選択するには、オンまたはオフにします。上記のステップ5で定義した値と同じ値を[参照してください](#)。

ステップ7:[Apply]をクリックし、実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存します。

ステップ8:[Save]をクリックして、**起動**設定ファイルを更新します。

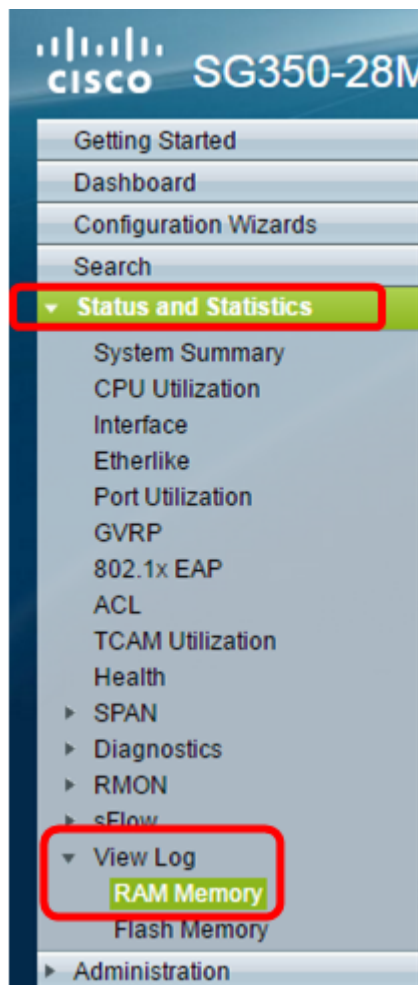


これで、Sx350シリーズマネージドスイッチのログ集約設定が設定されました。

RAMからのログの表示またはクリア

[RAMメモリ(RAM Memory)]ページには、RAM (キャッシュ) に保存されたすべてのメッセージが時系列で表示されます。エントリは、[Log Settings]ページの設定に従ってRAMログに保存されます。

ステップ1:RAMメモリからログを表示するには、[Status and Statistics] > [View Log] > [RAM Memory]を選択します。



ステップ2: (オプション) アラートアイコンの点滅を有効または無効にするには、[アラートアイコンの点滅]ボタンをクリックします。デフォルト設定は[Enabled]で、ボタンには [Disable Alert Icon Blocking]と表示されます。

注：次の図では、アラートアイコンの点滅が有効になっています。

RAM Memory

Alert Icon Blinking: Enabled

Log Popup: Enabled

Current Logging Threshold: Informational [Edit](#)

RAM Memory Log Table			
Log Index	Log Time	Severity	Description
2147483593	2016-May-02 05:52:50	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f
2147483594	2016-May-02 05:48:24	Informational	%AAA-I-DISCONNECT: http connection fo
2147483595	2016-May-02 05:37:11	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f
2147483596	2016-May-02 05:37:06	Warning	%AAA-W-REJECT: New http connection fo
2147483597	2016-May-02 04:07:34	Informational	%AAA-I-DISCONNECT: http connection fo
2147483598	2015-Dec-07 03:02:06	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f
2147483599	2015-Dec-07 02:53:56	Informational	%BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPCONFIGUR
2147483600	2015-Dec-07 02:53:53	Warning	%BOOTP_DHCP_CL-W-DHCPIPCANDID
2147483601	2015-Dec-07 02:53:49	Informational	%LINK-I-Up: Vlan 1
2147483602	2015-Dec-07 02:53:49	Warning	%LINK-W-Down: Vlan 1
2147483603	2015-Dec-07 02:53:44	Warning	%NT_GREEN-W-EeeLldpMultiNeighbour
2147483604	2015-Dec-07 02:53:44	Warning	%STP-W-PORTSTATUS: gi24: STP status
2147483605	2015-Dec-07 02:53:42	Informational	%LINK-I-Up: Vlan 1
2147483606	2015-Dec-07 02:53:42	Informational	%LINK-I-Up: gi24
2147483607	2015-Dec-07 02:51:03	Informational	%INIT-I-Startup: Cold Startup
2147483608	2015-Dec-07 02:49:28	Notice	%SYSLOG-N-LOGGING: Logging started.

ステップ3: (オプション) ログポップアップを有効または無効にするには、[ログポップアップ]ボタンをクリックしてください。デフォルト設定は[Enabled]で、ボタンには[Disable Log Popup]が表示されます。

Alert Icon Blinking: Enabled

Log Popup: Enabled

Current Logging Threshold: Informational [Edit](#)

注：[Current Logging Threshold]には、現在のRAMロギング設定が表示されます。[Edit]リンクをクリックすると、[Log Settings]ページが表示されます。

[RAMメモリ]ページには、次のフィールドがあります。

Log Index：ログエントリ番号

Log Time：メッセージが生成された時刻

Severity：イベントの重大度

説明：イベントを説明するメッセージテキスト

ステップ4: (オプション) ログメッセージをクリアするには、ページを下にスクロールし、[ログのクリア]をクリックします。その後、メッセージがクリアされます。

2147483627	2015-Dec-07 02:49:04	Warning	%LINK-W-Down: gi11
2147483628	2015-Dec-07 02:49:03	Warning	%LINK-W-Down: gi10
2147483629	2015-Dec-07 02:49:03	Warning	%LINK-W-Down: gi9
2147483630	2015-Dec-07 02:49:01	Warning	%LINK-W-Down: gi8
2147483631	2015-Dec-07 02:49:01	Warning	%LINK-W-Down: gi7
2147483632	2015-Dec-07 02:48:59	Warning	%LINK-W-Down: gi6
2147483633	2015-Dec-07 02:48:59	Warning	%LINK-W-Down: gi5
2147483634	2015-Dec-07 02:48:58	Warning	%LINK-W-Down: gi4
2147483635	2015-Dec-07 02:48:58	Warning	%LINK-W-Down: gi3
2147483636	2015-Dec-07 02:48:55	Warning	%LINK-W-Down: gi2
2147483637	2015-Dec-07 02:48:55	Warning	%LINK-W-Down: gi1
2147483638	2015-Dec-07 02:48:50	Informational	%SSL-I-SSLCTASK: Au
2147483639	2015-Dec-07 02:48:49	Informational	%SSL-I-SSLCTASK: St
2147483640	2015-Dec-07 02:48:47	Informational	%Entity-I-SEND-ENT-C
2147483641	2015-Dec-07 02:48:46	Informational	%Environment-I-FAN-S
2147483642	2015-Dec-07 02:48:36	Informational	%SNMP-I-CDBITEMSN

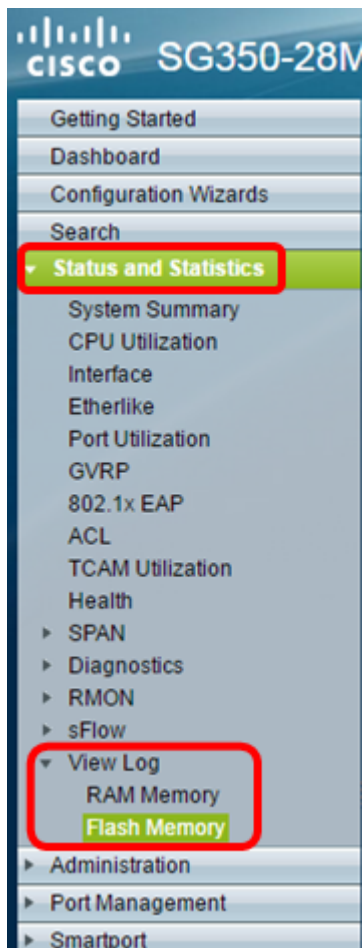
Clear Logs

これで、Sx350シリーズマネージドスイッチのRAMメモリのログメッセージが表示またはクリアされたはずです。

フラッシュメモリからのログの表示またはクリア

[フラッシュメモリ]ページには、フラッシュメモリに保存されたメッセージが時系列で表示されます。これらのログは手動でクリアできます。ロギングの最小重大度は、[Log Settings]ページで設定します。デバイスをリブートしても、フラッシュログは残ります。

ステップ1: フラッシュメモリからログを表示するには、[Status and Statistics] > [View Log] > [Flash Memory]を選択します。



注：[Current Logging Threshold]には、現在のフラッシュメモリロギング設定が表示されます。[編集]リンクをクリックすると、[ログ設定]ページが表示されます。

Flash Memory

Current Logging Threshold: Informational [Edit](#)

Flash Memory Log Table			
Log Index	Log Time	Severity	Description
2147483603	2016-May-03 02:16:25	Notice	%COPY-N-TRAP: The copy
2147483604	2016-May-03 02:16:23	Informational	%COPY-I-FILECOPY: Files C
2147483605	2016-May-03 02:15:14	Notice	%SYSLOG-N-LOGGINGFIL

[Clear Logs](#)

このページには、次のフィールドがあります。

Log Index : ログエントリ番号

Log Time : メッセージが生成された時刻

Severity : イベントの重大度

説明 : イベントを説明するメッセージテキスト

ステップ2: (オプション) ログメッセージをクリアするには、ページを下にスクロールし、**[ログのクリア]**をクリックします。メッセージがクリアされます。

これで、Sx350シリーズマネージドスイッチのフラッシュメモリのログメッセージを表示またはクリアできました。